

# ケアする、 ケアされるの関係を越えて ～とともに生きる社会を考える～

日時 2023年**10月30日** (月) 13:00  
～**12月27日** (水) 17:00

開催方法 **オンラインによる開催 (動画配信)**

※上記期間内であれば、いつでも配信動画を複数回視聴可能です。

対象 **福祉・保健・医療・教育・行政関係者、地域福祉に関心のある県民 (一般・学生) 等**

受講料 **【一般】2,000円 【学生】無料**

※学生とは、大学(院)、短期大学、高等専門学校、専修学校の学生で、社会人を除く。高校生以下は無料

## 講義1 「地域共生社会を考える、孤立・孤独を防ぐために地域でできること」

講師：同志社大学 社会学部 教授 **永田 祐** (京都府)

長引くコロナ禍の影響から、より深刻な社会問題となっている孤立・孤独。自ら声をあげることが難しい人が、発見の遅れにより、問題が深刻化する前に、住民、地域だからこそできることを学ぶとともに、住民、地域、専門職が力を合わせて、安心できる居場所や、いろいろな立場の人が役割を持って活躍できる地域づくりを考えます。

## 講義2 「地域で育てる社会的養育 ～重なり合う、つながり続ける厚みのある支援に向けて～」

講師：全国児童家庭支援センター協議会 会長 **橋本 達昌** (福井県)

「官」、「民 (民間事業者)」、「市民 (ボランティア)」といった多様な支援者らが相互に信頼し合い、互いの強みを発揮し、連動し合うことで、一支援者による抱え込みやバーンアウトを防ぐとともに、重なりや厚みのある支援によって地域社会の養育力が飛躍的に向上している実践事例を学びます。

## 講義3 「生き心地の良い町 ～つながりつつも縛らないという選択～」

講師：統計数理講師研究所 医療健康データ科学研究センター 特任准教授 **岡 檀** (東京都)

特別な自殺予防対策に取り組んでいないにもかかわらず、最も自殺の少ない町、徳島県海部町に入っただけの調査から、息苦しい人間関係を回避するための工夫や、SOSが発信されやすく、早期に介入するための仕掛けを、無意識に実践してきた住民の、つながりつつも縛らない、緩やかな関係づくりについて学びます。

## 申込期限 2023年10月19日(木)

※10月19日(木)までに申込、入金いただいた場合、10月30日(月)から視聴できます。

最終申込受付は、12月11日(月)です。入金確認後1週間程度で、視聴用URL及びテキストをお送りします。

## 申込方法

インターネットによる申し込みのみとなります。申込期限までに専用申込フォームから申し込みとともに、受講料を開催要綱に記載の指定口座に振り込んでください。詳細は、県社協社会福祉研修センターHPの「お知らせ(その他)」→「夏季大学」ページで開催要綱等をご確認ください。



## 講師プロフィール

### 永田 祐 (ながた ゆう)

同志社大学 社会学部 教授 (京都府)

上智大学文学部社会福祉学科卒業。慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了。上智大学文学研究科社会学専攻博士後期課程修了。博士(社会学)。  
気づいた課題に蓋をせず、お互いが「のりしろ」を出し合うことで、困っている人を真ん中においた「包括的な支援体制」をつくりたいという思いから、地域福祉の視点で、権利擁護支援を基盤とした包括的な支援体制の構築について研究している。また、社会福祉士として成年後見活動も行っている。

(著書)

- 「包括的な支援体制のガバナンス」(単著) 有斐閣 2021年  
(2022年度日本社会福祉学会学会賞学術賞、第24回SOMPO福祉財団賞)
- 「地域包括支援体制の今」(共著) ミネルヴァ書房 2020年
- 「子どもと地域の架け橋づくり」(共著) CLC 2020年 他



### 橋本 達昌 (はしもと たつまさ)

全国児童家庭支援センター 会長 (福井県)

1966年福井県越前市生まれ。越前市在住。中央大学法学部法律学科卒業。  
社会的養育総合支援センター一陽 統括所長。全国児童家庭支援センター協議会会長。  
子ども家庭庁 子ども家庭審議会 臨時委員。日本子ども虐待防止学会 常務理事。福井県地方自治研究センター 理事長。仁愛大学 子ども教育学科 非常勤講師。  
かつては越前市の職員であったが、社会運動や市民活動好きが高じて15年前に同市役所を脱藩。今も本業の他、数多くのNPO等に参画し、落ち着いた人生を満喫している。

(著書(編著))

- 「社会的養育ソーシャルワークの道標」日本評論社 2021年
- 「地域子ども家庭支援の新たなかたち」生活書院 2020年 他



### 岡 檀 (おか まゆみ)

情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任准教授 (東京都)

慶應義塾大学院健康マネジメント研究科博士課程修了。博士(健康マネジメント学)。  
情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任准教授。  
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 特任准教授。一橋大学経済研究所 客員教授。  
専門領域は、健康社会学、社会疫学、コミュニティ心理学など。  
日本で“最も”自殺の少ない町での調査を行い、コミュニティにおける「自殺予防因子」を示した。  
近年では、小学生が成人するまでを追跡するコホートスタディ「未来を生き抜く力、見つけたい」を開始した。また、路地をはじめとした町の空間構造特性の調査に着手するなど、コミュニティの在り方をテーマに多様な研究を展開している。

(著書)

- 「生き心地の良い町-この自殺率の低さには理由(わけ)がある」講談社 2013年

